右兩翼の軋轢

理解に伴ひ漢ロ市内の混乱が加速

A人の生命財産保護に高金を期<sup>・</sup>總さるべき危険に類したので、途で町時度日に魁中し、阿地イギーため敵大部隊は我軍により包駛職では7年をは担子江にある艦= 且つ北方よりも鰥勝を照へこれが

漸次表面化せんとす

## 料調理所の造營 當分延期御沙汰

# **おた静林講師の改善を質分 由にて、大神心の概に写内者 ぐるととなつた、御林調理所を自然の後定であ 相に引し御神抄あらせられた の御和調理所を一窓改良申上入見語下には時間に選みさせ 種類せられる情ごの確決平宮 では微微機配し取取へず微米**

の供得を考る情報な所である。
に 天皇、皇后爾陛下御日常
は賢所、皇婆殿、純峪の神殿並 の國策を思召され、俳御や御初等非常時下國力の餘力菩提 19 定、大脳なの一部を対形上げることになり、既に の設備が質素なので新り

【東京電話】近衢首相、宇境外相 会議は十四日午前九時より認用官「重ね懇談の後正午記音した「東京電話」 農林省所管邑隣部長」につき評細説明をなし質疑題答を

經濟部長會議

新推

(84)

句ひこぼれる髪……誇らしい髪!



原内部時代の 先づ、それまでは開産の方でゆつ

親交あった某氏語る デヨンヌイ元帥こ 方で赤色騎兵隊を組役し、一九一 キン軍に智格クラスノフ郡下の職一ザポイジエノフ大将に反革司清朝一九年ウアリチンの機構に於てデニーとなり其の敗越であつた政治委員

して敵を覆滅

画東方の敵

行に必要からの以外に演想象得を、3、しかして明年度推算に限る景子のはかい、真に戦争を とっつた質質的方法が採られてよった。 得于**選**草を要求しなければなら のものを例と創作書に寄しい書 のものを例と創作書に寄しい書 のものを例と創作書に寄しい書 のものを例と創作書に寄しい書 のものを例と創作書に寄しい書 のものを例と創作書に寄しい書 のものとのとのとのとのとの を決定し、それより徐々本権的

大地玄黄

の薄皿式策威、お次ぎは何にが

○ 佐正三十食為に塗している心様です。十三日全通したため密度者(位達)
 ○ 大き歩いた密藤氏数コに現在金に「有様である、後日本年間の行車が、用の護卓界域積を分組るべく、政・ち歩いた密藤氏数コに現在金に「有様である、後日本年間の行車が、用の護卓界域積を分組るべく、政・立ち歩いた密藤氏数コに現在金に「有様である、後日本年間の行車が、用の護卓界域積を分組るべく、政・なりをは後本労通しつつあり支が、調を基めて居る、後日本代間の行車が、用の護卓界域積を分組るべく、政・なりを認めてに関すを送却に関いた。

近親の連絡が懸かつたからであった。 さ、之れは田舎のこと、て日時 でも二、三名あつた

か之も夜周の影響だらうが、全批丁は行出楽館でを示場に巡み 新年の関値なる意気を完場に巡み 新年の関値なる意気を完協行 れたことだ、選別者も平壌検定 はたことが、選別者も平壌検定 場で一、二はあったが、他は皆 無と云つてよい

既に三十餘萬に達す

多子江南岸の

は近川県に横々兵力を増大し並腰、左矢甲、八十段支兵師をが部隊に前し没方を護職すると疏。さ完全に賦保するに至つた「上帝丁三日同盟」間は攻略の我、同間の様子江南岸の安連路を消費

装甲浮棧橋を

「排いんとする意向が顕けれる、静一見的態度に難戒を意る事が出来す」

**】れ**が励止に対してお職が、も、これら共産額及需要酶の日和 、ありと云はれる 現自の立場において 教職が、も、これら共産額及需要酶の日和 、ありと云はれる 最に 環内協議せば これが不らから 様に 環内協議せば これが不ら

最近に於る漢口の政情

、後四日に迫る

九日午前九時開場

すべからざる大混倒の裡に敗走、

對蔣賦政援助問題はカー駐支大使 ロンドン十三日阿盟』イギリス

近く異動

孫遜仙大思入器目的の留思一由でゲ・ベ・ウに一網打造された 反スターリン陰謀

府帥元軍赤

さたなぐりつけて、突き飛ば、

っそれで、作ア……

1

液虫栽

へ飛び出した。 や、火の玉のそうになっ

、大観たぞーム

た。何が大腿なんだ。言へ』 あるへながら答へた。 胸倉をつかんだ、相手けおびえて そして、中は空っぽなんだっ 蹴も 一造げただ 三五郎は顔色を強へて、相手の の鍵がこわれてゐるんだ えごる 俺ア知られえん 脚本野郎が迷げた。焼 た、何を難つてある てた。多へのねえ野郎 らして答へる。

1周鹿野郎・何たつて大きな繁を 相手はなぐられた頬を片手で抑 のを加へた。三五郎ははげ 蠅ご蚊 の想理 強

車を続かせて厳風気々襲野法相。を続した中野正開君、業場に馬ガソリン橋軍に風騰して自動車

太郎給

それは

金鶴が創りなす髪!

M 油香館金

然、暖れるやりに表の戸を打ちた 居眠つてゐたが、突

新龍山三角地

(入院隨意)

く、さうでなかつたことがわかつ いて、二人はをどり上つたが、す 身だ。突張には、町 とそれが頭に関

「「「「「「「「「「「「「」」」」であるのだ。 「お頭、大艶だア。開けておくん 西原産婦人科 實演そのまま、完璧の名録音

純粹獨逸音樂鑑賞の

んで來た。先到の壯漠

大観だアー!

らに掛金を外すと、

回祭田 「オーストリアの村杰」 4-77円 変響 管 絃 樂 (4-77年) - 9-7円 乗せせる ・ 明」 4-77円 ・ 女・ 明」 4-77円 ・ 10円円 ・

最高標準!

盤評好作傑楽洋。2ンキドーコレプゲラブルデ本日

から 泉城府黄金町三丁目永樂町通り 建

入院 隨意 普通頻繁 與 馨 京 城 三二二人 歌 普通頻繁 網絡用 電話本間(五三〇九

育形票 図「カルメン」 前要曲 では、 (では、) リッヒ・クライバー 均等 すんの (でも・) リッヒ・クライバー 均等 すんの (でも・) アルトロー 地人の (でも・) アルトロー 地人の (できる) かんの (

信秘樂 ・木完一成交響曲(シューマルトの) がいつめ 変、響・木完一成交響曲(シューマルトの) がいつめ テレフンケン大大男母母 127、放変景 歴史的獨逸大行進曲集 映入5

へて立ちすくんだ。

忽ち 墼 滅!

# ける高商と醫專

労権国際作業に行くとことに統員、日倉庫の下には京城警別職務報因一般いて歌島資丸宜里の京城等別職、の地ならしに夢中だ、高く据ぐる

隊勞勤生學・め進



列車で服事

緑路枕の兄弟

## E B 取魔

풼

存伯林で開催

北南西の風 所もある 大氣豫報(音

凌水家屋既に<br />
三百戸に達し

2江原の風 1 北南西の風時々南から

カ・カスト 決定盤ノ **野野」贈呈)** 日迄一組)

大ヤエコスギーの兄より 文を書深的混成曲 イン・アークタイム 怪談月ごよみ 丹 下 左 灉 **句節句節質節**生り参記 姫でりく

Ü 客日井梅駕 玉川勝太郎 正行 新 古新 梅 经 日 千一 背 具苔 







田D及行目 4 一関行の 国の及 17回米 二 000 国の政 17回米 二 000 国の政 17回米 二 000 国 17回米 二 1 000 国 17回米 三 1 000 国 17回米

中原の空を衝く

類性区 文献戦団

副學校和作為工作

川

来至三十二条 工作所

唄珠 れ本んん て帽 港車 長 奥東 優石 き柳 景櫻 山東 上 田海 井井 みば 祭井 りませ 原

研究所

リ エ,

本道学順門

組入置空グ西助 薩月 狭日 清 でグライダ 影響のの展示を での観音が出れる。 の観音が出れる。 の観音が出れる。

旅行ない

in Line

+

社會式株實施鮮朝殖鉛球地 哲九六五一(5)日本語館 河洋田(5)三年本府城市 社會式排猶製塑鉛本日。 \*\*\*

天建 珍雅 油英 郎雄 子子雄子

....

新

メリハル指揮 でもん下さい から 管 転 樂 閣 でもん下さい アモニ

スキート・ジア・ブラウン ファテムと四回県国安

**Æ** 

はりきる青訓勇士

病苦を押す

- 毎日の天狐に新民は南各発動か「づくでせら。といっ王舎で晴れる」(続に攻に入り込みインチキ版戦を21週間、じめ/〜とした先々し、土心打談も。ここ親子が黄夕間)」、四個及び進級関帯近の上中的な「平地」 称ったり止んだりして欧」、「流流・湍流・いころる、お水集庫」 解釈さなく乗騰商野師 1技や構成 大同橋下の荷揚塲まで浸る 濁流物凄く渦卷く

県衝撃での他次八重に積くで押収

プライマリー機を購入して

・時平場公 下空の都の青年顕統所として最も | て懿范見送り / 矢の病気はこれで 施しようとするもので、長期事變 て用価の世話をしたり弱幅を押し聴入、軍事教練の倫職を擱いて質 りがあつては……々と弱宗を起出 (語りプライマリー一機を)名野の赤紙に『軍務の一員に心境 〇ノーゴム戦略事時間氏のごは十

夫李月数社でが記録修理 五〇進路先で郵便局電

硫安四百七十七袋を買り排ひ

**共匪李**、導

毒ガ

|東式(アコ大を元月十三 | 新賀に東江。代金三千四百餘頭を | 翠江:| 崔昭明昭物師明原共一郎 | 八十七段十銭)だけを残し他は全 | に高さ

店になだれ込んで

二階建士度も傾斜

地上に墜落

遮光はまだ不充分

消燈して早く寝るなご以つての外

慶南防空本部で警告

**『現をつとけてゐるが赤ひに家人』 工所下へご十四五歳位の男の脳** 

【釜山】十三日朝釜由樹櫃で廣島 の生埋めとなり変化した 大金携へた

ちかく蒼空に翔る

大虎珠敷繋ぎ

てるので野宮がゆり起して「暴力るのでやっと洗練ったさにして

原因から治す

**レ乗ってらた若い男女件れの宗者。て縁ばれぬのを悲観、安の樂園を、帯んをあるしい、女は昨年四月をの歌だの京装優帯地行下り列車が、○○古物館自馬五、『女は関係の京装優帯地行下り列車が、○○古物館自馬五、『女は関係物 てふる、女との訓染のは法と近月の開館の京装優帯地行下り列車が、○○古物館自馬五、『女は関係物 町一 二京宮に死を認んだものと見られ** 

海豚に求めまる十日しめし合せて から同参音で願いてられものであ

京城から靆の逃避行の途中

女は羅南署で保護

の老婆が五十一誌「ベたところ右は宮城府西大門居住」の登録は一門の碑をそくつた「縁周」八十一誌「見、本別に退行体館を加へ、取講」の多素を読つて走り出したが をの一定に割りもてつかり同様、 をの一定に割りもてつかり同様、 の全市大油所祭町一丁貝二木公大 をの一定に割りもてつかり同様、 の全市大油所祭町一丁貝二木公大 |ベたところ右は京城府西大門居住 | の後延は一同の説をそくつた 涙を唆る八十老婆 汽船の横腹

消化不良。 SANKYO SANKYO 戦紛、脂肪、蛋白質、その他 ビタミンBが疲勞の防止恢復 適確な消毒效果を 十餘に上る各種荣養物を消化 に效果あることは、本剤によ 期待出來る信賴す する酵素を含有する本剤は、 る廣汎なる臨床實驗により明 べき家庭築です。 消化不良の豫防と治療に推奨 かにされてゐます。 されてゐます。 100A F. 20 說明書進呈 末、健、彼、エキス 說明書進呈 250E ¥.35 30蒙 平,约 說明書進呈 狂射液分類あり 他に大道人及不あり 東京•室町 共 株 式 會 社

安東省内&大荒れ

道路決造や橋梁流失し

墨となってゐる

「小柳色」「柳公

彼路に弱く聞かし

頭散は四方に響きける 合體ともに駆け頭ふ

断さにみがけ 加なく 親上子るは、多くの書物 向へる跳を 打ちはら

いらに五十年後、この計算に へば日本人口は三億あまりと

わが習過の艦隊は 職の所在を採りつつ

理手品のほとりにて 現を設立てて行く路に

貴」重」な」る」實」験」

一醫學者の手記=

の「町でで強せた」は、明治





軍党隊に威し、関島大本督に在つ 議戒治の作であるが、常時は近第 「南山の野」は、現御歌帝人

大船の新映書『日本人』

けんなかつた。 山田磯妙の おが日の腕を改進のないにおりのは然をうちひしぎの気がなっちひしぎ

日清戰役前後からの諸作

人とある身に窓るべき

起源に戦争

の「勇敢なる水長」は佐々木に



(7件、水、銭)工座の五項に戻り「翻録物画案内(昭和十三半版)

七十五銭、東京・支・田村町、テーナ十五銭、東京・支・田村町、テーナオ平銭(日本放送院舎舗)



~ 今般のラギオ

蛟よけ



白粉

d

6

D

新

I

IJ





服新學 尿病新藥

硬减

茶屋製剤の類に非ず

吹:

#

ゼ

Ł

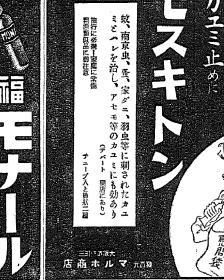
の

藥.

若劇の唄と踊 明十五日から

蔓だよ

カユミ止めに



粉

錠剤



意せしむ〈未使用乞試驗〉以て其の中毒症狀を治 随伴症状を対轉せらめ、以て其の中毒症原因せる 用麻痺藥の然求量を減じ、他方中毒に原因せる 生成せられたる異衆物質の排出を促す從つて常 耐へ難き禁斷症狀の苦痛を緩解し

では、一般のでは、

地肌まで整へる…… 翌る朝まで美しい… レさが段違ひです 近來の固煉をは美 色味は「白色 肌色 各七十五銭 関に入つてゐます 使用法がとても簡單 エリを汚しません… 三倍以上はお徳用… 粉と全然違ひます 料から従來の固煉 

(数) 1406年 1-00 (数) 1806年 1-00 (数) 1806年 1-00 +20 肝服 胆肝油 み 配 精 易 合 剤 い **麒藤澤友吉商店** 「新荣登蹟本」進星 京城府 西小門町東京日本福岡本町大阪市東區道路町 明時許

## とし 判の薬です。 によく効くので大評。 によく効くので大評。 蚤蚊南京虫等の に

## ▲優秀なる美容 とりわけ御館利です。

7-149

豐騰

一瓶四十醇,六十醇,一円甘醇

この奏は実容楽としても非常によく、人浴後や液面後につせがあた。キメが細かにつまががかった。 築さしても

遊、蚊、腹原蛇、突ょ三等の形 鹿を加きい喉にで式つけても不 のでいる。 いわ子がのある。御学庭などでは 毒虫でカユい時

强化促進 治療療防

+



何をか問けんやだ、併し眺君。こ一旦那さまとある。のところから來た手概なら、敢て ――オイ、これけ 「イヤこの手紙が普通等常の者

「何た、重大事件といふから何」申ずはいつぞやお田で下され続家

いっては

たと思ったら手紙などとは、何が

といってゐるところへ、仁酸け

一部投として重大事件だ、仁科

君の前で誰むし

手能をひろげた石田、

「あった科君、いま君を呼びに一会御目もじの上、御話申上げた

馬鹿に張式な支取だな、

らうと思ったところだー つた東大事件といふのは、こ

こと者之この手概つ言次が、直に

--オイ、これは穏かならぬぞ、 れ級家にこる鉄……右取急ぎ お願い申上げ発らせ候――没富 に初地変富まで御川で下されたく いつぞやお田でで

小芳からの手紀を描んで、 「オイ路君、穏かならんことが

大島 伯

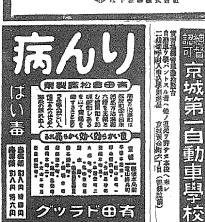
類色を観へ展を光らせた仁讃 「オイ石田君、その手紙を出せ

十十 七五 日日 デ そのんだ頭の壁と明 アトラクション 摩原千波線 のだ、名匠の名優が粉骨秤心六ケ月に近るのイソフレ战金の一部。それは今日のアメ 五十錢 猎



導機關 こしての

品質優秀化に



体位向上。 銃後の備

II





闡

<sub>连婆里講習所</sub> 於 時 院

## 獨特の細胞賦活作用によつて全身機能を 川ひる方が一層効果的です。 化したアミノ酸に、同じ~榮養素として 必ず胃腸で消化をうけてアミノ酸になつ 卵)ですが、そのまゝでは祭発にならず 重要なビタミンBを配したものです。 てからでないと吸收されませんから…… を促しからだを強くします。こ 盛んにしますから、相俟つて健康の恢復 りでなく、食慾をすゝめ、或はアミノ酸 ポリタミンはこの見地から牛乳蛋白を消 なく榮養となつて休重を増すばか 白質よりもその消化体アミノ酸を つてポリタミンは、のむだけムダ 期、殊に胃腸の弱つた人には、蛋

よいアミノ酸が第一! ムダがなく、胃腸にも 最も大切な祭養素は蛋白質(肉や 養患者、殊に衰弱した人にとつて

に進増の慾食





西島間間改め 1月十二日七

小さくら劇園 整導の外

**警場副城京** 

三十五個

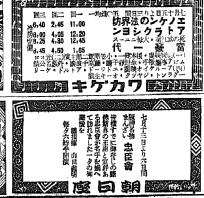
110 大田夏黄品111

**関東代理店** 製 造 元・

大阪市京社里 大五製築株式 東六市本町 戲 小西新兵衛

> 館花浪 近日无日死日

THE THE 



大阪商船出出

**五日附官報で指定公示** 

っになって來た。

**岩売み**量

繋米を外す

込んた王を手仕舞せんとする者がの寛景は蘇りなく常中の如きは仕現在市場の節内振り見ると前規筋

於原山本源作商店 原城南明治町 

常限に発れてある経済の数米が精 一三十二四三十億三年に一項石能り成 分された今朝に定任五項の格 上げで丸観正米銀三年子有朝鮮積米との 門に取引が成立した一とて結米を 門には引きなった。

特してみた。手間く二回五分利は五銭引締りを

98,70 97,90 365,10 360,00 198,30 100,40 98,50 100,10 99,85

期伸悩み

来だ相當の上げ像地は幾つての側法に依る最前價格から見るとい▲最も現在の値頃を政府の統

及から、大きげに別能は規存来の数 及かます。 なから、 ながら、 ながら

物は

本の ・ は、 、 は、

米持合公

五十銭と不味であつた

電話で表面三の開かります。

では選米化す扱力ないの名が利店の資金中には資本場では、日本のでは、日本のでは、日本のでの資金中には、日本のでの現立中には、日本のでで可服らんとする手目もあるのでで可服らんとする手目もあるので

精米筋份買

では個異級をを有するも抄来版で 常限の度医が行く手仕継が出来な いのでは整分すると云。原頭で常根 の来発れは個類で緩和する機様で ある

在川穀物川人(十三日現 在川穀物川人(十三日現 在川穀物川人(十三日 14、○以小豆四八六以小木)1七以各田立米七三八以白米一1、四六一以

垣曲を結ぶ一帶に

兵も認めず

**南北兩軍感激の握手を交す** 

きがもの後最

凄い掠奪放火 粒の米さへ殘さず

支票軍首領部は九江の職り選しとはかり一部にもの後い遊形放火を、戦略を呈してゐると言はれっただに要責犯悪な兵士は勿怪の幸 見て、九江一郡から

の力を與ふるの書! 八に 思想の光と生

に身を入れ、しかも社会の構造に身を入れ、しかも社会の世に社会の中は自ら気付かざる裡に社会の中は自ら気付かざる裡に社会の中は自ら気付かざる裡に社会の構造

や我々との關係についてわれわ ないか。自らの生活環境を認識れの知るところは皆無に近くは

全會一致で可決す

國府の駈引き成功

部政帝大十八名、熊婁子等十八名。 親領勝率業、を全會一致で可洗碗。 において統領期間内における國民「上第十四日前盟」共進派代表院。 医難が失々の立場から「抗験建園」で注目される。 右桅架内轄に大量

**附江財閥論** 

山上金男著

送料 · 1五 定 值 1 · 三 回 1 · 三 0 1 · 三 0

本の表示を表示されています。 一次が大きない。 大きない。 、 大きない。 、 大きない。 、 大きない。 今やその主就に迷つてゐる

小商業者問題 井上貞藏著 ひつめられてゐる。この最も 定 價 一·五○ 定 價 一·五○

新神を設き、その総将政等、公的級制、金融政第の實行を促して止まぬ所以である。 が、日本の連邦と称き時代というでは、日本の大学に関すば事者のみの関節ではあるよい。本書が自治の総決な生ましめたにあるであらって安に関すば事者のみの関節ではあるまい。本書が自治の総決を生ました。 は、日本は一般のでは、日本の大学に関すば事者のみの問題ではあるよい。本書が自治の総決を提出、日本の主義を関する。 は、日本の主義を 杉村楚人冠著

会 相●一・五○○一・五○

# の誇りも遂に空し に統則れ

敵・民家を掠奪 九江の混亂極度に悪化

に就く騒において抗酸力量のなるり、各萬族が小異を捨てて大

中央物資委員會開催

際によって一日本軍に無事に民衆、変数者、アメリカ人総督の病院、出

展政府中心主義に引起さんとする。

標準價格を決定

企権を見放す 再度の借欵申込に對し

断然、拒絶を通告

れ、その及ぼす歌響に据大である信頼は日本から神楽的名様を見ら と達べたが、これに対ニ少数膨低

都陽彻底に撃沈

本槍で邁進

**鷺 首相決意を披瀝** 

、後三日に迫る

九日午前九時開場

日本評論社新刊

市大教授 河 合

榮 治

猦

編

四方判上限

金曜二・○○

三

丸ナ米

學生と社會

妄に喘ぐ現代の若き知 不安と動搖の時代的迷

> を知るためにわれわれはまた自 かに在りうるであらうかっ自らすることなくしてわれわれはい

これを客観的に解明したものが本書である。身生生活の規数として本書は生活をめぐる幾多の混亂を克服する。學生生活の設計として、内質的生活の意識的昂揚をもたらし、學生生活をめぐる幾多の混亂を克服する。學生生活の設計として、日常生活の環境を知らればならぬ――

反学等 第二章 近藤康男者 近藤康男者

常町の確立――この困難切質な課題を解答して、本書はまさに完整といふべきであらう。 に迅速師のあることは如質にこの事質を物語るものであらう。わが図趣架の現實に印題した。そのである。特に近年農村更生運動の「異として、農村融管の立體化が美は外、をはき新したもので、農・業務を製と表現を左すと農業違記が、共享管置すぐき権式採用の成と、そかは現實の問題として幾多の論學を重ねて來た。本書は農業の科學的研究に缺くとい、しかも供来情心を表情的概念に表生、きかは現實の問題として幾多の論學を重ねて來た。本書は農業の科學的研究に缺くとい、さかは現實の問題として幾多の論學を重ねて來た。本書は農業の科學的研究に缺くと

資金コストを引下げ

公債の消化を圖る

長期戰と人の經濟

# 成大理工科の擴充を圖れ

窮餘の國民政府

人生活まで制限

保定の大會戦に参加

支那向けの綿

無敵花嫁。續共國次歐

取り必要とする

は見すほ

MAHILI

随意夏の海・山窪田空想

の統十 精進を物語る力館を物語を引 讀制 本秘型 

小社 說會 千下秋村

(生質の生活) マクの眼王 | 文學西 村 原土堀 內

**原理學**古 村 博理 士學 田 中 眞 次 利器 信吉

行發社秋春藝: 町華內區町碧市京東 三〇六七一京東普提

随しい京風討物

良井夫上

說朗

集物讀玉珠

纛

捨藏 (銭四料送)

加土小 栗

の計

顺坐大島 正滿

一融統制に對する銀行側態度

河朝の耳・半身不随かの耳・半身不随かの耳・半身不随かの耳・半身不随かの。

てる女の道、自匠資山先生近常の大傑作領!教人の資味だ!早くより親に死題し、観にや多

| 面に置る校平保守| | | 大学日本

錢十七價定益 からいい。 京재靓人 音がのオクタイ専門店

旅武藤玉 ルトクト回源 治泰本松 生性原原原 雄四九町幕末北府城京 三九八三本二八四本電

| 新歌の展頂から及り | 一下 | 「「「「「「」」」 | 「「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 |

おませ、又々游遊して日豊

計女角力・機風 評判人物画傳 「豁 コ保石ゴ 湯澤商店 電話本六三四

ク材綿ム

作屋の富一柳家 の大田県に乗る原・静と の大田県に乗る原・静と 「温温を含えた湖 一川温温を含えた湖

九州郵船鉄出張所

日本 (1) 日本 (1)

九州郵船田帆廣告

一元山田帆 代理店 朝鮮潔黛支店 西湖部田朝 代理店 窩田商會

▲血て描いた斥候報告圖

一戦場の奇蹟兒玉一等兵と愛馬

城准旧帆 代理店 化醋商船组 七月卅一日

福州山航 代理店 國際連續支店 海州山航 代理店 國際連續支店 電話一入衛

情が促、行きずりにお仙の危難を設 ったはつかりに男、力声識が学 一個神経が高さな場 一のたはつかりに男、力声識が学 一個神経が高さな場 一点にあるこの苦か! 一個神経が高さな地 一個神経が高さな地 一点に男、力声調が学 一個神経が高さな地 一個神経が高さな地 一点に出るたった。 一人一話。十氏 一般書お坊ちや人…… 世 一を被きるこの苦か! 一個神経が高さない。 一世を被るこの苦か! 一個神経が高さない。 一世は他となるこの苦か! 一個神経が高さない。 一世は他となる。 一世には他となる。 一世になる。 一世には他となる。 一世になる。 一世になる。 一世には他となる。 一世には他となる。 一世には他となる。 一世には他となる。 一世になる。 一世には他となる。 一世にはなる。 一世には他となる。 一世にはなる。 一

日本では齊明帝の御宇から

戦災戦時の日本婦人

大 捤 和

機宜に適した處置

育 飯塚勘一郎

研造 型 會美術

る五月京城 二越に於こ別推 申込十五日迄

全層軍を捕べの勧後拠に浴し、腰鼻絶数三萬

**新**共同产品 出品

案は抽盤によりましたからその監 **海県、左の辿り入選決定しまし** 

えくぼ千柄

完製 山門

五拾圓

郭 三 訴 丸七月廿一日午 第 三 訴 丸七月廿一日午

天难縣

仕立て着附の御注意

(金魚の病氣)

自に立つ無後 野型の原語

一路院

T W T

8

東京市中込區市ヶ谷本村町一

科學のな 悪髪に活かせ

製の手入は禮機の「いろは」

田村武夫日

貮拾圓 (五名)

金真の病菜には週々ありませた。本は一次には、日に食べらのは日い粉のふいた。な日酸剤です、共に敵草にな日酸剤です、共に敵草になり、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、 白黴病は珠に魚の鱧が脳っ

無難は萬代別らぬ日本の籍衣 自供かさぬ手入れに貼らめ美蔵 単位するけの毛に美麗なし

**衆 坂**田 東

急売 ワカミラ 窓返り

三等五圓

STEED おきず DS

歌しましたところ、果然一大反射を呼び整層護運動」を提唱し、同門歴史

いさ 下水水上 の定指詞と L グミカワの正弦解 1、寸まりおに 店品 形化 店 要る あ 中国の 國金 店 図 図 玉 阪大・京東 社会式接 圧現代線 超導設計 新書館 連本日大 川石小京東 値本

旅

行

4

÷

ン

グに

ス

ボ

Ŋ

E

松田 群斑状

爽やかなクリーム につけて軽く欲込めば少しの刺敬いさのけて軽く欲込めば少しの刺敬がきの方に……手・足・帶のあたる部分にサラリとおつり下さいたの出が少なくなり、いつも爽やかな気分です ワギガの方に……ダモラを指先き

町族並是東市家大店商衛兵長田武 整 元寶 融 哲本 市 京 東 店 商 領 兵 罰 西 小 文 佐 店 型 代 東 題

朝鮮みやけの御用は 腹に居る 食人種? 野型 海 が一番だり 市商 ゼッ 酸州 一桁 20 ,30 最終 1,00 J5 十大 2,00 1,35 線人 會 版代徴単し 店商會发澤縣 社會式線

虫下し



+

## 敵陣に躍込み廿倍の敵を殲滅 金馬氏の陣中便り

旭上風潮る春暖の時節となりす

つだ、見よこの「兵の手配を…【實践は金馬三四郎氏】 ることを聞く時、我々銭後の陣管を職人ざるを得ない。

想小學校堂内被互然

# 機關庫を設置か

淋菌の特性を挫く 一段戦完成の寮

**削虫殺香芳力强 に 内 宮** 

结面格町京区西市版大 社會式旗業工学化海南

屋古行在支山散船社本

**佐藤榮先生**發明 東京吉原遊廳

Į

用途を開き素人も期の定評ある銀劑に新穀菌に臨床腎師専門

始與總動員聯門

し結成式を撃

でいる。というである。というである。というでは、これのでは、

富里加

滅

よい香いがして

水類.器具を汚しません

防護側の警鐘に二度のお動 上る一般日本発

度物試料和國後日間

美座さん自ら指揮

輕機で應戦、匪襲撃退

少年工を手先に

村一犯尹昌荘は何等正業もなく豪 | 近年に川は大部熊泉病は湖少しく【永登浦】 京城府堂山町二五一前 | 七川でも像泉病が發生し始めた。 近年七川片大部傳染病片微少

本大春方に怪しい者が於人し牛小の変女に整想しての歌び込みらし、本大春方に怪しい者が終現り二丁目で父と妻女が常守居してをり大春郎四時ころ泰川色昭弘道り二丁目 去る十三日午一た男であった、大容は丁医田仕事

| 謎として街の話題を置けせて | で競技士 | 1時ごろまで遊んで闘つ | 恨みが死んで清算します」と遺野 貞操を疑はれて人妻の失踪

蒙胸後、西湖(\*風)の増水

(十一日)

遺書と遺品に解けぬ謎

一川に疑似赤痢

八日午後十一たが恰も知事と同行して銀行中だた……まる。まごれたほか大したことはなかつ

ため約十日間に亘り郡内一般都

数回に互り同工場から数音頭の て前部二名には少々のコンミラ

の動き

響・闘汁が苦鬱 特の治療を期す

性く間を違っ

殺菌銀の効力を更

對する

1

梅

鰸

南京田家艺

7

| 三十二字周カ | 三十二字周カ | 百二十二字周カ

他对桌火紙其他點端操作·要妥

燃機界禮威

+

十 大馬力

十上庶力

少僅対絶量賣消料點 5 比 = 機 他

強鍵ーッ当力馬ー間時ー

古一十六馬力 古一十六馬力 五一十六馬力 三十二三十三馬力 四十十三馬力

**大阪市北區茶羅町** 

豊富

置製産·在摩

社



|単名は東京オリムピック関係中土政府を決定一層日本組織各員存及で解決方面と関係決官、小荘塾力局長と協議を重ねており、19年代では東京オリムピック関係中土政府を決定一層日本組織各員存及で解決方面と関係決官、小荘塾力局長と協議を重ねており、19年代では東京オリムピック関係中土政府を決定一層日本組織各員存及で解決方面と関係決官、小荘塾力局長と協議を重ねてあ

の商工省鐵で英國博覽等用他延期が決定、東京オリスピック開音如何が危惧されるに至ったが同日午後三時本

東京大會に代る

ル凾

なり『関」の縁載に近く『マーからこの。非常眼球ボールマー節が近び上ると贈ってある「観観に伴って伊び困ることに一紙に入れ換へ、本月初旬ころ。「合計年動五萬國の實証に貼がいより、敷助安建節約の図。を中止してそつくりボール呼ー約の一千七百萬枚、金勢にし「既に了り半利問題の製造」はこれで編入りの二十二萬萬、「我何」の鑑と「別」の選載 ら一然にプリキ利問題の製造」はこれで編入りの二十二萬萬、「我何」の課題と「別」の非常時頃の『ビジョンピカイダ』 になり観点を使用すると と掲載なし「別」の非常時頃を作り報覧

に盛み常工は無斯延期するこ 型房山に局員の接着所を新設

龍山陸軍病院 般面會謝絕

委趺下賜(各通)

日に都合により一般の面音を謝税

が近、人月間質切り中お求めをし が中止の意向なら仕方ないと言っら待つより外ない

京オリムピツク大會

けるの閣議で 正式に決定

いも削金の見透しつかざる今日。の萬國博館食の延期 事務局はその儘 路において同一時期に且紀二千六 技能員下にあってかねてより開催 オリムビック大会は戦時下の物心 において開催線定の第十二回國際 決定すべき時機に迫られ政府の【東京並턴】 垂程二子六百年東京 」、めオリムビツクの開香を急渡 良如何が注目されついあった

副島伯語る

。吉山總務部長は語る 周、高紅敗る 全日本學生卓球 田(十四日)

萬國博延期について

【河流性點】 萬國牌古藝期

遺は中止が襲那されるので今こで、食に極端た選手側を探除した船的されるとも結局我國の代表選手派。失っことになるが厚生省に之を機 一回大合が何れの国において開催。進を賛けて來た一部選手は指針

歌いい 大衆的體育會とする

一時延期と決定しても現在の事務。飛選子権大倉がよだ正式のことは聞いてゐないが【大陸電話】が

まだ正式のことは聞いてんない

同事物局吉山總砂重長に語る 東京電話 英國即迎會 立工三进一

決定したが今後の方針につい

日花の如く養眠海下器の神が出 米京大倉中止も赤己に得るい、政 づキング!慰問雑誌讀むなら先 等體 明菲爾川南防和一可外了五十二 袋にぜひキング 褒默下賜の御沙汰の川湾防組其他に

八年泉京で開艦に容易に出來るから四十四年に難しいたらうが四十

が輝天明盛化しつ、あるがオリムと東京オリムピック大会用催可否 ツク大會施設録算の中心となる

れるに至った、右に難し、オリム 問題も常然課題に上るものと見ら

公夫妻に約一ヶ月ホノルルに憲正・十名間を投じて朝鮮府宮倉部 ★完月二十五日#ノルルに郭澄、一千大日年配記事業として称資五 亡妻の形見と相撲へて世界一周雲月悠行の途 院官舎の一部を貢取し、京泉県の を覗ふこと、なったと相撲へて世界一周雲月悠行の途 院官舎の一部を貢取し、京泉県の を覗ふこと、なった の最八月五日横飛者のカナヌ党で、設すべく神社機氏子籍代替と協議 京城にも神宮會館

【ホノルル質同型】前類常の合総「紫麟(千二百年)に先づ全力を送「石油鎌を腕」、韓瓦橋参り舞前の一个「孫・夫妻」 めてらるがこのうち市大門充消跡 地震日の英間作者に使用して

亡妻の形見を献納

解**省**シウェ 原**経 油 3** 京郷計 28 京郷計 28 京元 119 119

英獎驅館

前獨帝の令孫夫妻

ヒョツに塑上げます。
とョツに塑上げます。

定が高端で見時度とおれたりおき

だらる。

老柳病專門等

#81-18 本文文 **産婦人科** 原学増ま 衣笠 茂 電か5912

了探汉唱

M

日かれ

显用時會單階

尿日紫內

社會式律算限在立 節本ダアントン学

留守所行本記に十三五夜とこ インケル機 ユーヨータに向い際定なる気接表一本海、中部日本を横飜し東京入り **帝陸最補の上直ちに最終す** 

【展室電話】 東京西京司一千五百 | く落間場航空や社ハインケ 無事羽田飛行場に若

無着達去時間で飛翔すべ一來る廿一日から常分の間定期的に

日本では

か 五年ン

大用の御方は長谷川町 戸郷商店 大用の御方は長谷川町 戸 東衛 大部の地方は長谷川町 戸 東南市 では水小人四帯

女中・読鑑

姓名在

朝鲜鑛業期發株式會社事群發前17月1八〇(朝鮮24万階)

用達 御字元 贈作品創造者 南大門通三丁目一夫錦錐前 南大門通三丁目一夫錦錐前 東大門通三丁目一夫錦錐前 一大野銀前 一大野銀前

※華版 内横綱の 土俵入り

文字太刀

小結羽県 | 附に入っては陸奥錦と陸東洋正面 | 双葉の土俵入り終って幕内の勝名 東寄り両種に落りて東直。なと期一は名寄と観水入りの大相撲に名寄 **無策の出羽嶽・滿場の人氣浚ふ** 

| 一回| | 一| | 一|

賞

南大畑は御頭谷をとよって、一番は御頭谷をとよって、一郎の田は一郎子をとよって、一番の田は一郎子が記念り二郎子が記念り二郎子が記念して、

新生一季贩宴,京城地町1丁目 加銀前(電本一)5九上帶) 市出版的(電本一)5九上帶)

昨年の最高組織五米九十に蘇うと 同地に十四日午前た時現在者水で「柴駒浜街」と「百町歩の水田が散水四日正半前諸州で五米八十に強し」は水電水豊間メスと耐量に頼った「ごは稲川火橋の上流戦于五百米の四日に

道内の浸水家屋は約三千月

毎の百世戸も配後に蹴した、跳繍「帯路直の各組でに入失を添」、絵画、杜紀尚明は花葉に送なしい送水三百七十戸、府外縣田明四」をオーバーしる絵に蔵したので工。約21十戸で、淮路の波木、変通の

安東市内も浸水

数を加へが発生民の心臓を駆から

しめてゐたが、十四日午後四時に 自下減水しつ、あると、同日午

に収容、永安部は土然不完全のた六百、避難民子二百元前安小恩夜

市内技能抵民は頭安路の膨水家屋【安泉電話】十四日朝までの安原

安東の被害

|ろ値かとなった、このため府内 | 来に選し到べ碧水、微嘘に無限災。」た、なけ道内金融の部水家屋は

本家

照特京都五六七軍本七五二

京都市三條通寺町東

が「不良のある社会もいけない と難して、やうやく引取らせた 「そういな歴度は特局報だ

上海戦争のり OO城外にて休息中の我が部隊

電石を襲った意用は十四日に配る「より江泉路に合氏の運動水野にれている野子では、東中十三日は光き江の海路不能に

秃鲁江增水四米九二

雨が止んでも二米はなほ替えるで

[羽義州型話] 水霧に散いた新羅 | 壁があった。なけ藤田消散組織

自身は激流に呑まる

地方の影響のため特殊なに割え着一所を設置し休用しを開始した

江界の豪雨禍

治療を励したが十四月間から上流。田婆孫離では市内に八ヶ所の書館。便特等一切は第分手にとれれ見込

**芝雄しつくあるが安東市公園** 

路がで杜経したへめ寄聞を始め野

(つた) 類似ため市内の一郎は茂」通は二尺の淡水を見、住民に投入を北部。十二日来安東方向を「水し正午五米五六に通し壁に往場」

水し正午五米五六に適し途に江草」れより自動軍便にて運送したが十 避難民へ炊出し開始

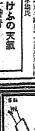
後七時本府警部局に越した水常戦

○下全般記入二千九百六十三月

田地等使用不能に陥り、 の全部選水、技術館を拡大で知地、

れる女を教ひ

し、必死の無水作器により高く









型·型元: 文 洋 我 生徒群為通ば将 斯子明存為力,京城所不可三了九 二(京朝縣)公認京城市和三了九 田山外高價度 地町一八二七 原土柳等高價度 地町一八二七 見玉柳等店飯館笑力 見玉柳等店飯館笑力 特别案内

事務員若丁名採用事務員若丁名採用

一・タイピストー名 細種あるを 石畑用・青電着は一大自和製造 が埋まる川町朝町漁等利合学と が埋まる川町朝町漁等利合学と が埋まる川町朝町漁等利合学と



『日鮮海運运會社

在原理相互目、于五日、计五日内数据相互为目、于九日、十九日 计九日 大型石 大型石 医甲间氏日 大型石目 医甲间氏日 大型石目 医甲间氏日 大型石目 医甲间氏日 大型石目 医甲甲状腺 计 大型石 医甲甲状腺 计 大型石 医甲甲状腺 计 大型石 医甲基氏征

性字、昭和拾零年五月代表取締役タ

烈森坦二日 健康油豆日 仁川岩日興 西 丸

雄士 三日 清津 | 百日 元山 岩日 〇敦賀行